

令和2年度の市民参画事業にかかる 取り組み進捗状況について（上半期報告）

1. はじめに

本市では、市民参加と協働のまちづくりを推進するため、様々な取り組みを進めてきたが、昨年度末から続く、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響は大きく、今年度上半期において、条例に掲げる市民参画方法の中でも、これまで重点的に取り組んできた市民懇談会等参加者同士の直接的な接触を要する方法について、実施を控えざるをえない状況が今日まで続いている。

2. 市民懇談会等の取り組み進捗状況について

(1) 市民懇談会

今年度は少なくとも以下の計画について市民懇談会を実施する予定であった。

- ・第4期守山市地域福祉計画（健康福祉政策課）
- ・守山市生涯学習まちづくり基本計画（社会教育課）
- ・自転車活用推進計画・2回目（地域振興課）

しかしながら、どの計画についても新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、次年度に延伸が決定し、市民懇談会は全て中止せざるをえなくなった。

(2) わがまちミーティング（学区市民懇談会）

守山学区において今年度も2月開催に向けて、新型コロナウイルス感染拡大状況を注視しながら、開催手法について検討中

(3) もりやま未来ミーティング

市民懇談会が実施できないなか、テーマとなる計画等を必要としない当該事業については、9月4日実施の「担い手づくり分科会」でも不要不急とならず適当なテーマが設定できるのであれば、オンライン等の開催手法を含めて実施してみてもどうかとの意見があり、実施に向けた検討を進めている。

（分科会での提案）

- ・若い方はオンライン慣れしているため、若い方限定の研修会、ワークショップであれば、オンラインで実施できるのでは
- ・ワークショップ等の現地・オンライン同時開催（高島市で実施）

(4) その他

以下の市民参画手法も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け中止となった。

- ・一般廃棄物（ごみ）処理基本計画にかかる市民説明会
- ・新庁舎基本設計にかかる市民ワークショップ
- ・6月開催の市政報告会

3. 市民提案型まちづくり支援事業の実施・・・別紙2-①

市民公益活動団体の自主的・自発的に取り組むまちづくり活動を支援するもので、その活動経費に対し、各区分の設定金額に応じた助成金を交付するもの。

採択団体に対しては、新型コロナウイルス感染拡大防止策の徹底や、感染拡大時に備え、活動に関しての方法を複数準備してもらうように説明した。

[開催概要]

9 団体が応募（募集期間：4/15～5/29）

6/20 プレゼンテーション（非公開）を経て 8 団体が事業採択

《採択団体の内訳》

- ・きっかけづくり事業 6 団体（内、新規は 5 団体）
上限 15 万円、補助率 10/10 同一団体への交付は 3 回限り
- ・ステップアップ事業 0 団体
上限 15 万円、補助率 1/2 同一団体への交付は 2 回限り
- ・自立事業化前提型事業 2 団体（内、新規は 2 団体）
上限 50 万円、補助率 10/10 同一団体への交付は 1 回限り

①成 果

- ・昨年度の採択団体が申請を保留するなか、周知方法の改善等により一定数の団体の申請があった。提案型事業の定着が伺える。
- ・市政広報番組「守山ニュース」（びわ湖放送）にて、当該事業にかかる採択団体や西川実佐子氏（守山市市民参加と協働のまちづくり推進会議の副委員長）のインタビューを盛り込んだ番組が放送された。

②課 題

- ・コロナ禍でも予定通りに事業が滞りなく実施できるように、コーディネーターが各団体とこまめに連携を図る必要がある。

4. 市民活動手引書「もり・まっち」の発行・・・別添（現物）

市民活動に対し、関心を持ち、理解を深めていただくために、市民活動に関する情報やお助け情報を記載した市民活動手引書「もり・まっち」を発行。

表紙および中身を刷新し、読み手が必要な情報を効率的に取得できるように工夫した。

京都新聞の記者から「もり・まっち」について取材があり、記事が 9 月 19 日朝刊に掲載された。

（市内関係施設 55 ヲ所に配置、発行部数 600 部（現時点））

5. ファシリテーター養成講座の実施

話し合いが育むまちづくりの推進に向け、地域における課題の解決やまちづくりに対する話し合いの調整役を担うファシリテーターの養成講座を引き続き実施します。（「信頼される市役所づくり分科会」。人事課と連携して実施。）

開催方法については、オンライン開催も含めた方法を検討する。

[養成講座]

- ・職員向け 開催日時：今冬に実施予定
- ・市民向け 開催日時：今冬に実施予定

[フォローアップ編]

- ・職員・市民向け 開催日時：今冬に実施予定

6. 「市民参加と協働のまちづくりフォーラム」の開催

まちづくりの課題解決のヒントとなる活動の事例発表や講演により、未来を見据えたまちづくりに対する市民意識の醸成を目的に引き続き開催する。

開催日時：令和 2 年 11 月 28 日（土）午前 9 時 30 分から午前 11 時 30 分まで

※まちづくり推進員リーダー研修会（社会教育課）と合同開催

開催場所：守山市民ホール 小ホール

内 容：【第一部】講演会、【第二部】提案型採択団体による事例・活動報告

テ ー マ：「(仮)With コロナ時代の地域活動スタイル～地域のつながりを大切に～」

※通年2回開催しているが、市民交流センターが主催のフォーラムについては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から11月実施は見送り、年明けに実施できるか検討中。

7. パブリックコメントの実施結果

年度	件 名 所 管 課	意見募集期間	意 見 提出者	意見数
R2	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案） （ごみ減量推進課）	R2.4.15～ R2.5.8	1 団体 +5 人	24
R2	守山市新庁舎『つなぐ、守の舎』整備基本設計書（案） （施設整備室）	R2.5.15～ R2.6.5	17	61
R2	守山市緑の基本計画（案） （都市計画・交通政策課）	R2.7.1～ H30.7.21	2	3

8. 「住みやすさ指標」市民アンケートの取り組みについて

総合計画に掲げる施策と住みやすさ指標項目との関係性を深めたことで、各所属の施策の方向性を確認する指標としての活用が見込めることから、今年度アンケートを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症に対する市民の不安感が根強いこの時期に市民の住みやすさに対する客観的な数値・指標を把握することは困難であり、アンケート結果の活用についても、各所属の理解を得ることが難しいとの判断に、庁内会議でも方向性が一致したことから、今年度は実施を見送ることとなった。

9. 今後の取り組みの展開について

新型コロナウイルス感染症の収束の時期の見通しが立たない状況ではあるが、市のガイドライン等に基づき、感染防止対策を講じたうえで可能な市民参画手法については早期に再開を図りたい。従来の手法が難しいものについては、オンライン開催等も視野に入れるなど、市民の意見を聴くことができる取り組みの断続的実施について研究・検討に努める。